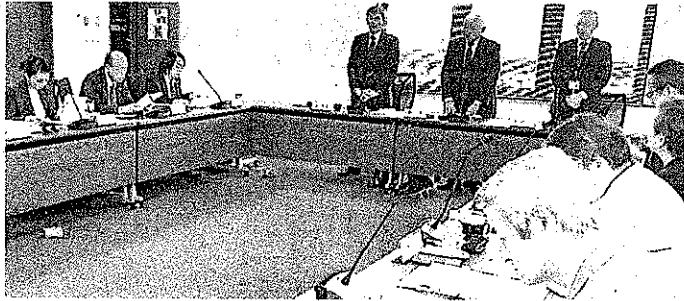


# 金品受領地元 に激震

関西電力幹部が元高浜町助役の森山栄治氏（故人）から金品を受領していた問題は、県庁にも飛び火し、地元を揺るがしている。22日には、町の特別監査結果で、森山氏の関連会社に発注した契約の一部に疑義があったことも判明した。原券マネーを巡る問題は収まりそうにない。

（森山出、堀川敬部）

## 監査で「数件の疑義」



特別監査結果の報告があった高浜町議会の議員全員協議会。高浜町

### ●高浜町議会

高浜町議会では議員全員協議会が開かれ、特別監査結果について各議員に概要版が配られた。監査委員会事務局を務める議会事務局長が内容を読み上げた。

森山氏が取締役を務めていた警備会社の項目では、確認した424件の中に「疑問を抱かざるを得ない処理が数件見られた」との表現があった。議員から「数件とは何か」との質問が出たが、全協の場では明らかにされなかった。

全協終了後、上尾徳郎議長が報道陣の取材に対応。

「数件」はいずれも人材派遣事業の随意契約で、庁舎の清掃や窓口業務の月単位での契約という。議長は「年単位でみると入札しないといけない金額に達する」と指摘。ただ、「担当者」の認識不足によるもので、外部からの圧力や恣意的な判断ではなかった」との見解を示した。

### ●県調査委

森山氏と県職員との関係を調べていた県の顧問弁護士でつくる「高浜町元助役関係調査委員会」は21日、森山氏が顧問を務めていた

土木建築会社「吉田開発」と、取締役だった警備会社について、県の事業の発注状況や契約状況に問題はなかったとの調査結果を発表した。

調査報告書によると、吉田開発については、土木部や農林水産部の工事台帳が残る1995年度以降を調査。両部に契約状況の再確認を求め、調査委や県監査委員でも調べたが、問題点は見受けられなかったという。警備会社についても、関係書類が残る2014年度以降を調査したが、指摘すべき事項は確認されなかったとした。

報告書は「森山氏が県の発注工事など県行政に影響を与えた事実は確認されなかった」と結論づけた。

### ●県議会予算委

県議会の予算決算特別委員会は21日、2018年度の県歳入歳出決算の認定案（一般会計・歳入4620億5663万円、歳出4561億9124万円）の総括審査を行い、賛成多数で認定した。

採決にあたり、森山氏からの金品受領問題を受け、

斉藤新緑委員長は「県が行う契約事務については、業者との関係性について疑念をもたれることのないよう、適正に執行していく」とを強く求める」と県側に要請した。

県によると、「吉田開発」は18年度に県の道路工事3件を受注しており、約2029万円が支出されたという。